

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

合同会社福祉経営情報サービス

②事業者情報

名称：さつき寮	種別：共同生活援助
代表者氏名：富田 淳	定員(利用人数)：32 名
所在地：〒360 - 0201 埼玉県熊谷市妻沼1461 - 4	
Tel：048-588-5266	

③評価実施期間

令和元年 5月 7日（契約日）～令和元年 7月 29日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

○施設ではあるが生活の場であるということを共有し、家族主義的に利用者本人に関わっている

海外の福祉事情の視察等、長年に亘る考察の結果から生活寮として開始したグループホームであり、家族の温かさと個々人のための施設の両方備えているという事で、スーパーノーマリゼーションと海外からの視察者に言わしめたという経緯がある。開設後27年が経過した現在でも、代表者家族がホームの隣に継続して居住し、家族ぐるみで支援に関わっている。個々の生活を大切にしながらも、家族主義的に利用者本人に関わり、「施設ではなく家である。似非（えせ）ながら他の利用者、職員を含めた大家族として暮らすこと」を大切にしている。施設ではあるが生活の場であるということ職員と共有し、時には家族同様に踏み込んで本人と話し合い、個別支援を徹底している。

○倫理綱領の周知や研修実施により、利用者を尊重した日々の支援の徹底に努めている

法令順守マニュアルや倫理綱領を整備し、職員にわかりやすく明示している。理念の一つに「人間の障がいを受け止める場である」があり、理念に沿うべく倫理綱領の中で人生の尊厳、人権の擁護、個性・主体性の尊重等を伝え、支援者の基本行動と姿勢を明確にしている。加えて、市民としての暮らしの保証として地域生活支援の充実や余暇支援、就労支援、男女交際・結婚の支援などが謳われている。虐待防止では研修等で基本的知識やケース、スキル、対応について職員が深く学び、利用者の自己決定を尊重した日々の支援が実施されている。

○「余暇の創出」に力を入れ、生活の自由度を高めて、利用者の希望や意向に応じた支援をしている

散歩や行事、旅行等での外出も多い。利用者本人の意思を尊重した支援の中で「余暇の創出」にも力を入れ、コーヒーを入れる技術者の資格であるバリスタ等の資格取得や学習検定、創作等、社会参加や学習支援を充実させ、利用者の生活を豊かにする事に取り組んでいる。また、日中の作業や余暇などの自由度は高く、例えば、自転車に乗り一人で遠くまで半日以上かけて出かけたり、釣りをする等、一人ひとりの希望や意向に応じた生活が営まれている。日常の中で、利用者は地域に出て買い物なども楽しんでおり、近隣の人と顔なじみになっている利用者もいる。買い物ではホーム内にも売店が設置されており、好きなものを買う楽しみもある。また、レンタル自転車を準備して利用者に貸し出している等、生活の自由度を高め、理念の一つに謳われている「のびのび・のんびりした暮らしを応援する」支援を実践している。

◇特にコメントを要する点

○中長期の事業課題を解決するための計画策定を期待したい

身体の状態を踏まえつつ、高齢であってもホームで暮らせる限り、希望に沿う事を方針を持っている。入居後30年を超す入居者もあり、高齢化が課題となっている中、高齢化により日中の作業ができなくなる人たちの受け皿を法人として用意する必要性も生じている。そのため、生活介護の開始が中期のビジョン（方針）としてある。また、施設に移行する利用者もいる中で、新規入居者の対応、支援に向けた職員対応や設備の整備も必要となる。今後は中長期の事業課題に基づく重点実施事項等も併せた計画を明確化し、将来に向けた課題解決に着実に取り組んでゆく事が期待される。

○職員間の情報共有については解決に向けた検討とアクションを期待したい

今回の評価では職員自己評価の中で情報共有についての意見がいくつか挙げられている。24時間の支援であるため全員が一度に集まる機会を持ちづらく、難しいところであるが、どの部分での情報共有が不足しているのかを検証して、それらを補う施策や方法の工夫等により、問題の解決を図っていただきたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

初めて受審させて頂きました。
私どもだけでは思いつかない多くの視点に気づかされ、さらには評価にとどまらない助言を得られたことは大変な収穫でありました。
これを基に業務へのフィードバック、サービス向上を図る所存です。
誠にありがとうございました。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり